

令和6年6月7日
石川県水産総合センター
内水面水産センター
担当者：増田、相木
TEL：0761-78-3312

ドジョウの採卵作業について

石川県水産総合センター内水面水産センターでは、本県の伝統的な食文化である「どじょうの蒲焼き」の食材であるドジョウが安定供給されるよう、県産ドジョウの養殖拡大に取り組んでいます。

養殖用種苗生産で5月上旬から始めた採卵が現在ピークとなり、7月上旬まで採卵を続ける予定です。

受精卵は2日ほどでふ化し、全長約20mmに成長するまで約1か月間育成して、県内のドジョウ生産者へ配布します。今年度は昨年度と同じ約20万尾の配布を目標にしています。

この度、報道機関の皆様を対象に下記のとおり採卵作業の説明及び撮影の機会を設けます。

記

【 採卵作業の概要 】

日 時：令和6年6月12日（水）10時から

場 所：水産総合センター内水面水産センター
（加賀市山中温泉荒谷町ロー100）

内 容：

- ・ 2日前に卵成熟の進んでいる雌（全長15cm前後）を選び、産卵を促進させるためホルモン剤を注射し、翌日に再度種類の違うホルモン剤を注射しておきます。
- ・ 採卵当日は、麻酔した雌のドジョウから1尾ずつ卵を搾ります。そして、雄の精巣から搾取した精液と水を加えて人工授精し、受精した卵を水槽に收容します。



採卵作業



受精卵の收容



配布サイズのドジョウ稚魚